

公立大学法人 神戸市看護大学 第1期中期計画（2019～2024年度）の概要

社会的ニーズに対応した幅広い能力を持つ、看護人材の育成のための取り組み

1. 入学者選抜及び学部教育

(1) 優秀な学生の確保

- ・入学者受入れ・選抜方法の継続的な見直し、入試データの蓄積・分析に基づく広報活動の強化

(2) 教育方法・内容

- ・科学的思考、看護人材に必要な倫理観や対人関係能力を育成するための教育の実施
- ・新しい課題に対応できる看護人材に必要な語学教育、情報系科目の充実、災害教育の充実・強化
- ・地域包括ケアシステムを体系的に学ぶカリキュラムの編成
- ・急性期医療から在宅医療まで対応した大学教育と看護実践の現場が連動する実習体制の構築

2. 大学院教育

(1) 優秀な学生の確保

- ・看護職者、他分野で経験を有する社会人など多様な人材の積極的な受入れ

(2) 教育方法・内容

- ・総合的な能力を養成する共通カリキュラムの編成、複数教員による指導、研究支援体制の強化
- ・社会人の要請に沿った教育課程の見直し、就業、学業を両立できる教育課程の充実
- ・地域の保健課題の解決、政策提案など、より高度な実践・研究能力を持つ人材の育成の充実

3. 学生への支援

(1) 全学的な学修支援体制の整備

- ・全学的な支援体制の充実、学生の自主的な課外活動に対する支援
- ・学生の自主学修に適した図書館、実習室等の環境の整備

(2) 特別な配慮を要する学生への学修支援の強化

- ・早期、予防的な指導體制の充実、指導教員と連携した支援

(3) 生活面、健康面及び経済面の支援

- ・教員、職員、保健室職員、カウンセラーなど他職種による生活支援体制の充実
- ・「学生支援基金」創設の検討

(4) 就職・キャリア支援

- ・看護師、保健師、助産師の国家試験合格率100%の達成
- ・市内受験生、市内就職者に対するインセンティブを検討
- ・シミュレーションセンターの活用を含めた生涯学習センター設置の検討

学術研究、地域貢献活動、国際交流の推進等による大学ブランドの確立

1 地域課題の解決や健康創造都市戦略等を担う、学術研究の推進

(1) 神戸市と地域に貢献する研究の推進

- ・神戸市の政策課題に寄与する研究の推進
- ・医療産業都市参画企業等との科学研究費等を活用した地域課題解決に寄与する共同研究等の推進
- ・地域の課題解決に資する研究や中央市民病院等との臨床共同研究の推進

(2) 研究活動推進のための支援

- ・全学的な研究活動の推進のため、研究交流の場の拡充、研究支援センターの設置検討

(3) 研究倫理の確保

- ・法令遵守、研究倫理の普及、研究不正防止の推進、倫理審査の定期的な実施

(4) 研究成果の発信

- ・学内の研究成果のオープンアクセス化の促進など迅速かつ幅広い情報の発信

2 市民との連携・交流による、地域の保健医療への貢献の推進

(1) 地域と連携した教育研究活動等

- ・地域の医療機関、福祉施設等での地域包括ケアに関する教育研究体制の整備
- ・地域団体との連携、災害看護訓練の強化や地域の新たなニーズへの対応の検討

(2) 市民との交流促進

- ・公開講座、参加型教育プログラムによる研究成果の市民への還元、神戸市の政策課題に寄与

(3) 地域の看護人材の供給

- ・卒業生、地域の看護職の就業継続に向けた研修会、キャリア支援に向けた研修の実施
- ・地域の看護職者の資質向上、定着促進に向けた教育プログラムの開発、提供
- ・看護職者の定着支援策の検討、復職支援プログラムの開発・提供

3 グローバルな視点を培う、国際交流の推進

(1) 外国人の受入れ

- ・留学生の受入れの推進、医療・介護分野の外国人のキャリア開発のための実務研修会の開催

(2) 学生の異文化理解の推進

- ・海外研修、留学生との交流等を通じた異文化理解の促進、短期留学を含む海外留学の推進

(3) 海外の大学との交流の推進

- ・海外の大学との共同研究と新たな大学との協定の締結、学術交流の推進

業務運営及び財務内容の改善

1 効率的で機動的な組織運営体制を構築し、地域の発展に貢献する大学へ

(1) 効率的で機動的な組織運営体制の構築

- ・理事長・学長のリーダーシップのもと効率的で機動的な組織体制の整備
- ・新たな取組みを検討実施するための組織の設置
- ・情報を一元的に集約、戦略的な分析による法人・大学運営の改善

(2) 開かれた大学運営の推進

- ・理事会、審議会等の外部有識者からの意見の積極的な取り入れ

(3) 教育研究組織の見直し

- ・法人運営体制、教育研究組織を常に検証し必要な見直しを図る

2 優れた教職員の確保育成及び特性を生かす人事・組織制度の構築

(1) 多様な人材の確保と教職員の能力向上

- ・最適な人員配置の実施、人材育成計画の策定

(2) 教育連携の推進

- ・単位互換制度など学外の実習施設等の活用

(3) 外部人材の活用

- ・客員教授、実習施設の人材登用など外部人材の積極的な登用

(4) 人事評価制度の構築等

- ・人事評価制度の構築、給与や研究費への反映を検討
- ・柔軟で弾力的な人事制度の継続的な検討

3 教育環境の整備・充実

- ・実習設備の充実及び効果的な運用
- ・長期保全計画に基づく計画的な改善、機能の維持向上
- ・ICTを活用した効果的な授業や実習指導を行うための教育環境の充実

4 自己点検・評価による質の改善、情報公開による透明性の確保

(1) 自己点検・評価体制の強化

- ・自己点検評価等の結果の公開、組織体制の見直し、業務執行方法の改善
- ・学生による授業評価の教育活動の改善への活用

(2) 情報公開及び情報管理

- ・教育研究活動、経営状況等の積極的な公開、情報資産、個人情報の適正管理

5 心身の健康と安全の確保、危機管理体制の整備、ハラスメント行為の防止

(1) 健康管理と安全対策

- ・学生・教職員の安全確保、健康管理の推進、危機管理訓練、講習会の実施

(2) 人権尊重

- ・人権侵害に関する強化やハラスメント対策、コンプライアンス研修の実施

6 多様な自己収入の確保・充実と経費の適正化

(1) 外部資金の獲得

- ・競争的資金、受託事業の獲得、多様な資金確保の検討

(2) 学生納付金等

- ・学生の利便性を高める納付方法の検討

(3) 多様な収入の確保

- ・学内施設の有償化、公開講座受講料等の適正な設定
- ・「学生支援基金」創設の検討（再掲）

(4) 業務の改善と経費の適正化

- ・外部委託、ICTの活用等による経費の適正化
- ・簡素な事務局組織の編成と業務執行